



IBM健保の歯科健診・健康診断・レセプトデータを解析

IBM健保はライオン株式会社様と共同でIBM健保が保有する膨大な健診・レセプトデータを活用した大規模な研究調査を行いました。

●毎年2万人が受診する健康診断のデータ ●2014年から2023年の歯科健診データ(累積14,000人)とレセプトデータをライオンのデジタル戦略部データサイエンスグループが分析した結果、歯科保健に関わる複数の知見を得ることができました。

本研究は2025年5月の第98回日本産業衛生学会にて発表され、うち1演題は産業歯科保健部会優秀演題賞を受賞しました。以下に紹介する3つの演題は学会発表からの抜粋のため詳細を省いていますが、交絡因子を調整しています。

1 歯科予防プログラムが口腔ケア習慣及び口腔状態に与える影響 産業歯科保健部会優秀演題賞

IBM健保独自の歯科予防プログラム「p-Dental21」が、参加者の口腔ケア習慣を含む生活習慣および口腔状態に与える影響を明らかにすることを目的としてデータを分析しました。

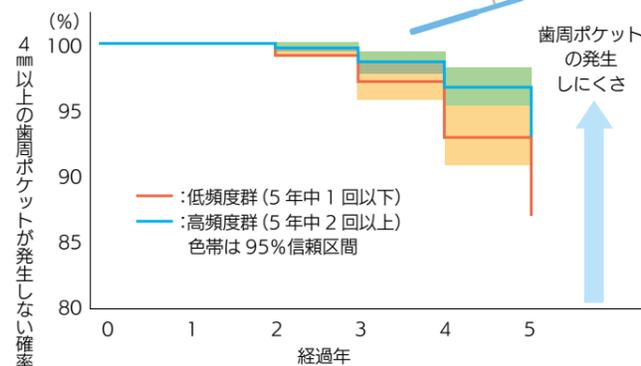
分析方法

- 2014年～2018年の5年間における「p-Dental21」への参加回数で、以下の通り群分け
 - 参加回数2回以上「高頻度群」
 - 参加回数1回以下「低頻度群」
- 2019年～2023年の5年間に観察期間とし、4mm以上の歯周ポケットの新規発生までの時間を比較

結果

高頻度群は、低頻度群と比較して歯周ポケットの新規発生までの時間が有意に長いことが確認されました。さらに、歯周ポケット新規発生リスクが有意に低いことが示されました。

歯周ポケットの発症予測



2 口腔状態がその後の歯科医療費に与える影響：客観/主観双方の観点から

口腔状態を表す客観的指標である「歯周ポケットの深さ」と、主観的指標である「かむ状態」に着目し、口腔状態と歯科医療費の経年での関連性を明らかにすることを目的としてデータを分析しました。

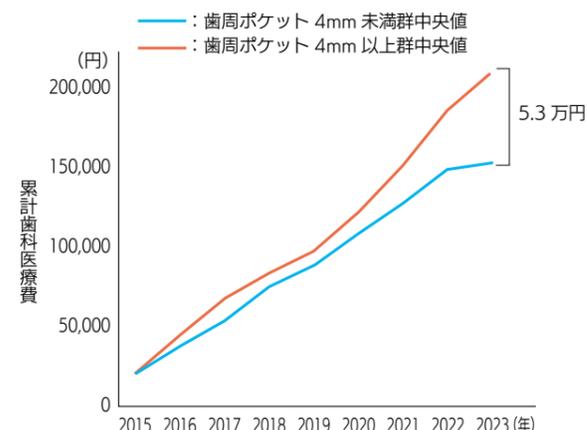
分析方法

- 「歯周ポケットの深さ」について、2014年時点での測定値を用いて、以下の通り群分け
 - 歯周ポケット4mm以上群 ●歯周ポケット4mm未満群
- 「かむ状態」について、問診結果を用いて「かめる」群、「かみにくい」群に群分け(グラフなし)

結果

歯周ポケット4mm以上群は4mm未満群に対して、8年間の累計歯科医療費が1人当たり約5.3万円高くなりました。「かむ状態」については、かみにくい群は、かめる群に比べ5年間の累積歯科医療費が1人当たり約2.5万円高くなりました。

深い歯周ポケットの有無と累計歯科医療費の関係



3 定期的な予防目的の歯科受診が職域成人の生活習慣や全身健康に与える影響

お口の健康の維持増進のためには、職域における歯科健診の受診が重要です。歯科健診習慣の有用性を検証することを目的としてデータを分析しました。

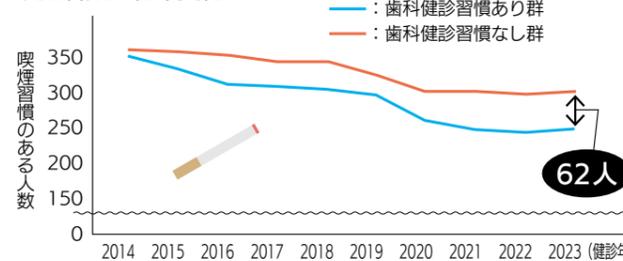
分析方法

- 問診「定期的に歯科健診/歯石除去など予防を受けているか」を10年間の回数を以下の通り群分け「はい」の回数が
 - 9回以上「歯科健診習慣あり群」 ●1回以下「歯科健診習慣なし群」
- 2014年～2023年の各年の喫煙習慣、運動習慣を群間比較

結果

歯科健診習慣あり群は、なし群と比較して、喫煙習慣保有者の減少が大きく、運動習慣保有者の増加が大きくなりました。健康意識の向上、専門家(歯科医師、歯科衛生士等)からの生活指導、自己効力感の向上などが、生活習慣や全身健康に良い影響を与えたと考えられます。

喫煙者数の経年変化



運動習慣保有者数の経年変化



このように、p-Dental21を受けたことで歯周病の重症化が予防できたこと、歯とお口の健康づくりは生活習慣の改善にも繋がったことがわかりました。乳児期から高校生までは歯科健診が義務化されていますが、就労すると歯科健診の機会は少なくなります。

ぜひ、歯とお口の健康づくりのために今日からできることを始めましょう！

- 歯科医院で定期的なプロケアを受ける
- 歯ブラシにフロスや歯間ブラシをプラスしたセルフケアをする
- IBM健保オリジナル「い〜でんたるへるす」で正しい知識を身につける

社員 p-Dental21

社員以外 Family p-Dental21

い〜でんたるへるす

2024年度版 健康スコアリングレポート

今年も「健康スコアリングレポート※」を「すこやかサポート Plus」へ掲載しました。ログイン後、各種情報「データヘルス」から参照ください。

すこやかサポート Plus <https://ibm-ssp.sukoyaka-support21.com/psn/> →

※加入者の健康状態や健康づくりの取り組みを業態平均と比較し「見える化」した「健康の通信簿」です。

医療費の状況

医療費は高額で、特に20代、30代が平均と比較して高くなっています。はしご受診や時間外受診、薬のもらいすぎなどは見直しましょう。

●当健保組合の男女別・年代別1人当たり医療費(2023年度)

	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代~
当健保組合	217,082円	225,545円	121,540円	164,301円	170,362円	248,756円	379,270円
業態平均	186,004円	195,894円	103,729円	141,917円	169,849円	236,922円	362,364円
全健保組合平均	180,887円	193,725円	103,629円	141,346円	166,931円	239,107円	358,956円

スマホで簡単・便利な「すこやかサポート Plus」をご活用ください！

「すこやかサポート Plus」は、健診予約の確認・変更、健診結果・医療費の照会、確定申告に大変便利な医療費控除通知、家族健診の申し込み等をワンストップで行える「健康ポータルサイト」です。

※ご家族(被扶養者)も、ご本人がユーザー登録いただくことで、24時間いつでもご利用頂けます。未登録のご家族(被扶養者)は、今すぐご登録を！

家族健診も無料です。申し込みはスマホで簡単！

